

令和3年第2回北海道議会定例会 一般質問

開催年月日 令和3年(2021年)6月18日(金)
質問者 自民党・道民会議 八田 盛茂 議員
答弁者 知 事 鈴木 直道

○八田盛茂議員

文化的な生活を営むことのできる社会の実現を目指す「ケアラー支援条例」が制定され、道内でも、今年3月に「栗山町ケアラー支援条例」が制定されるなど、具体的な取組が一部の自治体で進んでおり、道においても、ヤングケアラーや高齢者・障がいのあ
る方の介護が必要な家庭などを適切に支援する取組が必要と考えます。

道と道教委は、緊密に連携し、道内における実態を早急に把握し、必要な対応を検討すべきと考えますが、知事及び教育長の見解を伺います。

○鈴木直道知事

ケアラーの方々への支援についてであります。介護を必要とするの方々にとっては、家族の介護を頼りにしたり、感謝をしている一方で、家族が介護をするのは当然という見方もあり、ケアラーの方々には、仕事や勉強などを両立する上でつらい思いを抱えていることが心配をされ、特にヤングケアラーについては、心身の成長や学びへの深刻な影響が指摘をされているところであります。

このため、道では、本年2月に道教委及び庁内関係部局が情報共有するための連携会議を設置するとともに、先駆的に取り組んでいる栗山町をはじめ、学識経験者や支援団体、当事者の方々等に参画いただく有識者会議を今月中に立ち上げることであります。

今後、道教委と連携のもと、早急に道内の実態調査に着手をし、その上で、ケアラーについて、道民の皆様が理解を深めていくための環境づくりに向けた方策の検討を進め、ケアラーとそこ
のご家族が、将来に希望をもち、自分らしく生活できる社会の実現に努めてまいる考えであります。